



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 27 日

上場会社名 ゼビオ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸橋 友良  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート室長 (氏名) 永見 秀樹 TEL (024)925-2510

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	36,651	9.7	3,369	7.9	3,765	8.7	2,760	29.4
19年3月期第1四半期	33,420	22.2	3,122	0.4	3,463	5.6	2,133	14.2
19年3月期	132,227		10,167		11,495		7,288	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	60	27	60	23
19年3月期第1四半期	46	58	46	50
19年3月期	159	13	158	90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	122,838	80,636	65.6	1,760	53
19年3月期第1四半期	114,529	74,269	64.8	1,621	40
19年3月期	122,080	78,598	64.4	1,716	02

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△ 1,661	△ 989	△ 667	22,361
19年3月期第1四半期	△ 3,000	△ 775	△ 698	30,056
19年3月期	7,082	△ 14,517	△ 1,414	25,680

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日）  
第 1 四半期の業績は予定通り推移しており、平成 19 年 5 月 11 日に公表しました業績予想の見直しは  
おこなっておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(参考)

平成 20 年 3 月期第 1 四半期経営成績等（個別）の概況（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
20 年 3 月期第 1 四半期	百万円 29,824	百万円 3,244	百万円 3,470	百万円 2,498

	総資産	純資産
20 年 3 月期第 1 四半期	百万円 107,943	百万円 77,251

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

わが国経済は、引き続き企業業績の改善や民間設備投資の増加などに牽引され底堅く推移しており、所得環境の改善から個人消費も緩やかに増加基調となりました。このような環境下、当社第 1 四半期業績は、連結売上高 36,651 百万円（前年同四半期比 109.7%）、経常利益 3,765 百万円（前年同四半期比 108.7%）、四半期純利益 2,760 百万円（前年同四半期比 129.4%）と増収増益となりました。

スポーツ事業部門においては、一般スポーツ商品群が、昨年のサッカーワールドカップ需要の反動があったものの、野球・バスケット・シューズを中心とした学生需要の取り込みが順調に進んだこともあり、堅調に推移致しました。梅雨入りの遅れと気温の上昇により、アウトドア関連商品が好調であったことと、ゴルフ関連商品需要の回復も特徴として挙げられます。

ネクスト事業部門では、商品施策として継続的な日本型MDの構築及びライセンス商品比率の引き上げを進めており、レディースを中心に順調に推移しております。

㈱ヴィクトリアにおいては、戦略的に商品構成比率を見直し、一般スポーツ商品群を積極的に強化している最中にありますが、シューズ、アスレチック、トレーニングウェアを中心に数字を伸ばしてきております。

クレジットカード事業につきましては、平成 19 年 6 月末よりヴィクトリアカードの会員募集を開始致しました。今後も新規会員募集の促進、並びに顧客情報の有効活用を図り、スポーツを基軸としたゼビオグループならではの魅力あるサービスを充実させていくことで、顧客ロイヤリティの向上に努めてまいります。

店舗の状況につきましては、平成 19 年 6 月末までにスポーツ 5 店舗の出店及びスポーツ 2 店舗の退店を行い、第 1 四半期末での店舗数は 196 店舗、売場面積は 109,511 坪となりました。出店の内訳は、スーパースポーツゼビオ新さぼろ店（北海道）、スーパースポーツゼビオモルエ室蘭中島店（北海道）、スーパースポーツゼビオ五所川原エルム店（青森県）、スーパースポーツゼビオヴィスポ横須賀店（神奈川県）、ヴィクトリアゴルフヴィスポ横須賀店（神奈川県）、退店は、スーパースポーツゼビオ弘前店（青森県）、ヴィクトリアゴルフ奈良南店（奈良県）となっております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状態（連結）の変動状況

当第 1 四半期における総資産は、前年同四半期に比べ 8,308 百万円増加し 122,838 百万円となりました。この主な変動要因としては、設備投資などにより現金及び預金が 7,694 百万円減少し、前年同四半期に比べ流動資産が 2,844 百万円減少し 64,715 百万円となったことと、新店舗の設備投資などにより有形固定資産が 10,318 百万円増加し、固定資産が前年同四半期に比べ 11,153 百万円増加し 58,122 百万円となったことによります。

当第 1 四半期の流動負債は、支払手形、支払信託及び買掛金が 4,132 百万円増加したことなどにより前年同四半期に比べ 4,661 百万円増加し 37,817 百万円となりました。固定負債は負ののれん（連結調整勘定）、事業再構築引当金の減少などにより 2,719 百万円減少し 4,384 百万円となりました。また、純資産の部は、前年同四半期に比べ利益剰余金が 6,499 百万円増加したことなどにより 80,636 百万円となりました。

#### ②連結キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期における現金及び現金同等物の期末残高は、前年同四半期に比べ 7,694 百万円減少し、22,361 百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ 1,339 百万円増加し、1,661 百万円の支出となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が 934 百万円増加したものの、たな卸資産の増加による資金の減少が 2,428 百万円となったことならびに法人税等の支払額が 1,870 百万円となったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ 214 百万円支出が増加し、989 百万円の支出となりました。これは、店舗の出店に伴う有形固定資産の取得による支出が 991 百万円となったこと、敷金・保証金の差入による支出が 278 百万円となったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ 30 百万円支出が減少し、667 百万円の支出となりました。これは、配当金の支払額が 666 百万円となったことなどによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は前第1四半期と比較して、売上高、利益共に増加いたしましたが、当初の計画通り推移しており、中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

(会計処理の方法における簡便な方法の採用)

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。  
また、その他影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1 現金及び預金	30,556	22,861	△ 7,694	△25.2	26,180
2 受取手形及び売掛金	3,291	4,474	1,182	35.9	3,667
3 営業貸付金	—	607	607	—	470
4 たな卸資産	30,399	33,486	3,086	10.2	31,057
5 その他	3,312	3,286	△ 26	△0.8	2,784
流動資産合計	67,560	64,715	△ 2,844	△4.2	64,159
<b>II 固定資産</b>					
1 有形固定資産	19,768	30,087	10,318	52.2	29,765
2 無形固定資産	800	1,032	231	29.0	1,075
3 投資その他の資産	26,399	27,002	602	2.3	27,079
(1) 差入保証金	9,847	9,608	△ 239	△2.4	9,693
(2) 敷金	9,899	9,762	△ 137	△1.4	9,718
(3) その他	6,651	7,632	980	14.7	7,667
固定資産合計	46,969	58,122	11,153	23.7	57,920
資産合計	114,529	122,838	8,308	7.3	122,080
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1 支払手形、支払信託及び買掛金	26,425	30,557	4,132	15.6	29,658
2 未払法人税等	1,494	1,828	334	22.3	2,021
3 賞与引当金	248	326	78	31.5	559
4 役員賞与引当金	—	—	—	—	10
5 ポイントサービス引当金	1,641	1,811	170	10.4	1,840
6 その他	3,345	3,292	△ 53	△1.6	4,033
流動負債合計	33,155	37,817	4,661	14.1	38,123
<b>II 固定負債</b>					
1 退職給付引当金	1,359	678	△ 680	△50.1	1,427
2 役員退職慰労引当金	60	74	13	22.9	71
3 事業再構築引当金	1,178	—	△ 1,178	—	—
4 連結調整勘定	3,674	—	△ 3,674	—	—
5 負ののれん	—	2,810	2,810	—	3,026
6 その他	830	821	△ 9	△1.1	833
固定負債合計	7,104	4,384	△ 2,719	△38.3	5,358
負債合計	40,260	42,201	1,941	4.8	43,482
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1 資本金	15,935	15,935	0	0	15,935
2 資本剰余金	16,086	16,086	0	0	16,086
3 利益剰余金	46,001	52,500	6,499	14.1	50,430
4 自己株式	△4,025	△4,037	△ 12	—	△4,036
株主資本合計	73,997	80,485	6,487	8.8	78,416
<b>II 評価・換算差額等</b>					
その他有価証券評価差額金	271	151	△ 120	△44.3	182
評価・換算差額等合計	271	151	△ 120	△44.3	182
純資産合計	74,269	80,636	6,366	8.6	78,598
負債、純資産合計	114,529	122,838	8,308	7.3	122,080

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	〔前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期〕	〔当四半期 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期〕	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	33,420	36,651	3,230	9.7	132,227
<b>II 売上原価</b>	20,805	22,644	1,838	8.8	82,606
売上総利益	12,614	14,006	1,391	11.0	49,620
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	9,491	10,637	1,145	12.1	39,453
営業利益	3,122	3,369	246	7.9	10,167
<b>IV 営業外収益</b>	561	617	55	9.9	2,238
<b>V 営業外費用</b>	221	221	0	0.0	909
経常利益	3,463	3,765	301	8.7	11,495
<b>VI 特別利益</b>	95	795	699	733.6	1,053
<b>VII 特別損失</b>	2	70	67	2,513.1	1,402
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	3,556	4,490	934	26.3	11,146
税金費用	1,422	1,729	307	21.6	3,857
四半期(当期) 純利益	2,133	2,760	627	29.4	7,288

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期（当期）純利益	3,556	4,490	11,146
減価償却費	457	617	2,297
減損損失	—	—	631
連結調整勘定償却額	△ 216	—	—
負ののれん償却額	—	△ 216	△ 864
売上債権の増加額	△ 675	△ 806	△ 1,052
営業貸付金の増加額	—	△ 136	△ 470
たな卸資産の増加額	△ 366	△ 2,428	△ 1,024
仕入債務の増減額(減少：△)	△ 2,267	898	966
その他	△1,374	△ 2,254	△ 571
小 計	△ 886	163	11,058
法人税等の支払額	△ 2,129	△ 1,870	△ 4,014
その他	15	45	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,000	△ 1,661	7,082
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	—	—	△ 1,000
定期預金の払戻による収入	—	—	1,000
有価証券の売買等による収支（純額）	△ 499	—	—
有形固定資産の取得による支出	△ 348	△ 991	△ 15,612
有形固定資産の売却による収入	—	—	1,929
無形固定資産の取得による支出	△ 69	△ 57	△ 883
敷金・保証金の差入による支出	△ 284	△ 278	△ 1,529
敷金・保証金の返還による収入	433	342	1,663
その他	△ 6	△ 5	△ 84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 775	△ 989	△ 14,517
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
自己株式の取得による支出	△ 30	△ 1	△ 41
配当金の支払額	△ 667	△ 666	△ 1,373
その他	0	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 698	△ 667	△ 1,414
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	1	—	0
<b>V 現金及び現金同等物の減少額</b>	△ 4,472	△ 3,318	△ 8,849
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	34,529	25,680	34,529
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	30,056	22,361	25,680